

七色櫨のはなし

国道179号を南から進んで、大釣トンネル直前の三叉路を左(羽出方面)へ約300m進むと、右手に七色櫨を見ることが出来ます。

七色櫨は、ウラジロガシの一変種で、春の赤から始まり、橙、黄、黄緑、青緑、濃緑と四季を通じて色が7回移り変わるところから、別名「虹の木」ともよばれます。

橙から黄色に変わる6月上旬頃が最も美しく、周囲の木々の緑を背景に色鮮やかに枝葉を広げる七色櫨の様子は新聞記事やニュースでもたびたび取り上げられていますのでご存じの方も多々と思います。

葉の色は一斉に移り変わることはなく、前の葉色を残しながら様々な葉相を見せてくれます。これまで幾度もとり木・挿し木を行いました。七色櫨にはならず、この珍しい変色の原因は不明です。樹高約16m、樹幹周囲1.5m、推定樹齢は150年とも350年ともいわれています。津山地方振興局選定「津山の名木百選」(平成5年)にも選定されており、平成15年3月には岡山県重要文化財にも指定されている鏡野町を代表する名木です。

大変珍しい七色櫨ですが、実は隣の鳥取県にも存在することはご存じでしょうか？鳥取県日野郡江府町には、「武庫の七色ガシ」とよばれる七色櫨があり、紫、黄、白、赤、緑、青、黒と葉の色を変えたりといわれています。こちらはシラカシで、樹高約18m、樹幹周囲2.6m、推定樹齢300年で鏡野町の七色櫨より一回り大きく、こちらも鳥取県重要文化財に指定されています(江府町HPより)。また、武庫の七色ガシは失恋の

悲しみで湖に身を投げた女性の生まれ変わりとか、妖怪に化けた、などいくつかの伝説を持つことから古くから地域の人々に大切にされていたことを物語ります。鏡野町の七色櫨には残念ながらこのような伝説は残されていません。

全国で「七色櫨」とよばれているものはこの2本のみのようです。偶然にも隣県で日帰りも可能ですので、機会があれば是非両方の七色櫨の美しさを楽しんでみてはいかがでしょうか？



【岡】鏡野町生涯学習課(ペスタロッツ館内) 担当：日下

☎0868・54・77333

博物館体験講座 トンボ玉作り(一般対象) 募集のお知らせ

弥生時代・古墳時代の装飾品として作られていたトンボ玉(ガラス玉)を作ってみませんか？



今回は一般の方対象で行います。是非ご参加下さい。

日時：平成22年7月3日(土)

9:30~11:30

場所：ペスタロッツ館

体験学習室

参加費：300円

対象：中学生以上(小学生以下は人数に余裕があれば)

ただし5年生以上)

定員：30名(先着順)

申込：生涯学習課

(ペスタロッツ館)

担当：日下

(TEL 54・7733)